

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2023 年 4 月 20 日

都道府県知事 殿

病院名 医療法人医仁会武田総合病院
開設者 医療法人 医仁会 理事長 武田 隆久

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、 1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から39までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030473

臨床研修病院の名称： 医療法人医仁会武田総合病院

記入日：西暦 2023年 4月 20日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030473	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 武田病院 番号 030491003
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ サトノ ヒデキ 氏名 (姓) (名) 里野 英樹		役職 武田総合病院総務部 係長 (内線 3215) (直通電話 075-572-5466) e-mail : somu-jin@takedahp.or.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ イリヨウホウジンイジンカイタケダソウゴウビョウイン 医療法人医仁会武田総合病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 601-1495 (京都府) 京都市伏見区石田森南町 28-1 電話 : (075) 572-6331 FAX : (075) 571-8877 二次医療圏 の名称 : 京都・乙訓 医療圏		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ イリヨウホウジン イジンカイ リジチョウ タケダ タカヒサ 医療法人 医仁会 理事長 武田 隆久		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 601-1495 (京都府) 京都市伏見区石田森南町 28-1 電話 : (075) 572-6331 FAX : (075) 571-8877		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ イチヤマ サトシ 姓 姓 一山 智		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.takedahp.or.jp/ijinkai/index.html		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030473

臨床研修病院の名称： 医療法人医仁会武田総合病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 110名、非常勤（常勤換算）： 18名 計（常勤換算）： 128名、医療法による医師の標準員数： 37 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日： 西暦 1976年 08月 24日、告示番号： 第 481号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 (98.300) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 7083件（うち診療時間外： 6438件） 1日平均件数： 19.4件（うち診療時間外： 17.6件） 救急車取扱件数： 3726件（うち診療時間外： 3081件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 6名、看護師及び准看護師： 3名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 (1) 有 0. 無) その他 (産婦人科)
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 500 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 15.1 日、2. 精神： 0.0 日、3. 感染症： 0.0 日 4. 結核： 0.0 日、5. 療養： 0.0 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		件数： 62 件（正常分娩件数： 49 件、異常分娩件数： 13 件）
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 4 回、今年度見込： 10 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 4 件、今年度見込： 10 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 当該医療機関の剖検室 0. 無 () 大学、() 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	(1) 有（単身用： 12 戸、世帯用： 0 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	(1) 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(142.200) m ²
	医学図書数	国内図書： 462 冊、国外図書： 5 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 42 種類、国外雑誌： 14 種類
	図書室の利用可能時間	00：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース (1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1) 有 0. 無)、 その他 () 利用可能時間 (00：00 ～ 24：00) 24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1) 有 0. 無)、 その他 ()

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号：030473

臨床研修病院の名称：医療法人医仁会武田総合病院

<p>18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>病歴管理の責任者の氏名及び役職</p>	<p>ツガナ ナカボウ ユキハル 氏名(姓) 中坊 氏名(姓) 幸晴 役職 血液病センター長(診療情報管理委員会委員長)</p>			
	<p>診療に関する諸記録の管理方法</p>	<p>① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)</p>			
	<p>診療録の保存期間</p>	<p>(永)年間保存</p>			
	<p>診療録の保存方法</p>	<p>1. 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に:)</p>			
<p>19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>安全管理者の配置状況</p>	<p>① 有(1名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</p>			
	<p>安全管理部門の設置状況</p>	<p>職員：専任(1)名、兼任(26)名 主な活動内容：1) 各部署のインシデントレポート・アクシデントレポート、医療事故の原因の分析並びに事故予防策の検討及び提言、指導に関すること 2) 各部署への情報提供と再発防止策の為の提言、指導に関すること 3) 医療事故に関する諸記録の点検に関すること 4) リスクマネージャーの教育、育成に関すること 5) 職員教育の企画、運営の分析、評価に関すること 6) 医療安全及び医療事故防止のための啓発、広報に関すること 7) 各職場間の意見交換に関すること</p>			
	<p>患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>患者相談窓口の責任者の氏名等： ツガナ アベ ジロウ 氏名(姓) 阿部 氏名(姓) 二郎 役職 医事部事務長代理 対応時間(08:30～17:00)24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：① 有 0. 無</p>			
	<p>医療に係る安全管理のための指針の整備状況</p>	<p>① 有 0. 無 指針の主な内容： 医療事故の防止、再発防止対策ならびに発生時の適切な対応など、医療安全を確立し適切かつ安全で質の高い医療・サービスの提供を図ることを目的とする。</p>			
	<p>医療に係る安全管理委員会の開催状況</p>	<p>年(12)回 活動の主な内容： 1) 医療事故、又は発生する恐れがあった業務についての情報収集、分析及び再発防止策に関すること 2) 医療安全対策の具体的事項及び推進の検討に関すること 3) 医療事故防止の為の研修、教育、広報及び出版に関すること 4) 医療事故(訴訟)対策に関すること 5) その他医療の安全に関する必要なこと</p>			
	<p>医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況</p>	<p>年(4)回 研修の主な内容： 医療安全・リスクマネジメントについて、採血・静脈注射実習、診療用放射線の安全管理、基礎から学ぶ医療安全(WEB)計4回</p>			
	<p>医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策</p>	<p>医療機関内における事故報告等の整備：① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： ・医療機関内における事故防止報告等の整備 ・その他の改善の為の方策の主な内容 各部門の医療安全対策マニュアルを作成し、業務手順、留意事項問題点を抽出し、その対応方策をきめ細かく文書化、各部門に配布、職員に徹底している。毎月委員会、小委員会、看護部独自の委員会を定期的に開催し、具体的事例を基に医療事故防止対策などの検討を行っている。</p>			
<p>20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)</p>		<p>修了： 4 名 中断： 0 名</p>			
<p>21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)</p>		前々年度	前年度	当該年度	
		1年	4	6	5
		2年	6	4	6
<p>22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出</p>	<p>許可病床数(500)床÷10=(50)名</p>			

	患者数から算出	年間入院患者数 (7,351) 人 ÷ 100 = (73.5) 名
<p>23. 当該病院からの医師派遣実績</p> <p>※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。</p>		<p>○ 派遣実績 名 → 募集定員加算 名</p> <p>※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領 25 を参照)</p> <p>○ 地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ 無)</p> <p>※ 該当する方を○で囲むこと。</p>

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号：030473

臨床研修病院の名称：医療法人医仁会武田総合病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。	※	
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名) 2. 作業療法士： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名) 3. 臨床心理技術者： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名) 9. その他の精神科技術職員： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)
25. 第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>		1. 有 (評価実施機関名： (年 月 日)) 0. 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small>
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	院内保育所 保育補助 体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所 その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入) 研修医のライフイベントの相談窓口 各種ハラスメントの相談窓口	院内保育所の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無) <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください (8 時 00 分 ~ 18 時 30 分)</small> 病児保育 <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無) 夜間保育 <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か <input checked="" type="radio"/> 可 0. 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) その他の補助 (具体的に：) 休憩場所 <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) () <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (総務部) 窓口の専任担当 <input checked="" type="radio"/> 有 (1 名) 0. 無 窓口の名称を記入 (総務部) 窓口の専任担当 <input checked="" type="radio"/> 有 (1 名) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：武田病院初期臨床研修プログラム プログラム番号： 03491303
29. 研修医の募集定員 <small>(基幹型記入)</small>		1 年次： 名、2 年次： 名

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号：030473

臨床研修病院の名称：医療法人医仁会武田総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>30. 研修医の募集及び採用の方法 <small>(基幹型記入)</small></p>	<p>研修プログラムに関する問い合わせ先</p>	<p>フリガナ 氏名(姓) _____ 氏名(姓) _____</p> <p>所属 _____ 役職 _____</p> <p>電話: _____ FAX: _____</p> <p>e-mail: _____</p> <p>URL: _____</p>
	<p>資料請求先</p>	<p>住所 〒 _____</p> <p>担当部門 _____ 担当者氏名 フリガナ _____ 総務部 _____ 姓 _____ 名 _____</p> <p>電話: _____ FAX: _____</p> <p>e-mail: _____</p> <p>URL: _____</p>
	<p>募集方法</p>	<p>1. 公募 2. その他(具体的に: _____)</p>
	<p>応募必要書類 (複数選択可)</p>	<p>1. 履歴書、2. 卒業(見込み)証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他(具体的に: _____)</p>
	<p>選考方法 (複数選択可)</p>	<p>1. 面接 2. 筆記試験 その他(具体的に: _____)</p>
	<p>募集及び選考の時期</p>	<p>募集時期: 月 日頃から 選考時期: 月 頃から</p>
	<p>マッチング利用の有無</p>	<p>1. 有 0. 無</p>
<p>31. 研修プログラムの名称及び概要 <small>(基幹型記入)</small></p>		<p>概要: * 別紙3に記入 (作成年月日: 西暦 年 月 日)</p>
<p>32. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) <small>(基幹型記入)</small></p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入</p>		<p>(プログラム責任者) フリガナ _____ 氏名(姓) _____ 氏名(姓) _____</p> <p>所属 _____ 役職 _____</p> <p>(副プログラム責任者) 1. 有(名) 0. 無</p>
<p>33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 <small>(基幹型記入)</small></p> <p>すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。</p>		<p>*</p>
<p>34. インターネットを用いた評価システム</p>		<p>1. 有(<input checked="" type="radio"/> EPOC) ・その他()) 0. 無</p>
<p>35. 研修開始時期 <small>(基幹型、地域密着型記入)</small></p>		<p>西暦 令和 年 月 日</p>
<p>36. 研修医の処遇 <small>(基幹型・協力型記入)</small></p>	<p>処遇の適用 <small>(基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</small></p> <p>常勤・非常勤の別</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</p> <p>2. 病院独自の処遇とする。</p> <p>1. 常勤 2. 非常勤</p>

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号：030473

臨床研修病院の名称：医療法人医仁会武田総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

37. 研修医の処遇（続き） <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修手当	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 円） 賞与／年（ 円） 時間外手当： 1. 有 0. 無 休日手当： 1. 有 0. 無	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 円） 賞与／年（ 円）
	勤務時間	基本的な勤務時間（ ～ ）24時間表記 休憩時間（ 1時間 ） 時間外勤務の有無：1. 有 0. 無	
	休暇	有給休暇（1年次： 日、2年次： 日） 夏季休暇（1. 有 0. 無） 年末年始（1. 有 0. 無） その他休暇（具体的に： ）	
	当直	回数（約 回／月）	
	研修医の宿舎（再掲）	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 0 戸） 0. 無（住宅手当： 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>	
	研修医室（再掲）	1. 有（ 室） 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>	
	社会保険・労働保険	公的医療保険（ 健康保険 ） 公的年金保険（ 厚生年金保険、労災保険 ） 労働者災害補償保険法の適用（1. 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 0. 無） 雇用保険（1. 有 0. 無）	
	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に ）	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無	
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（1. 有 0. 無） <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 時 分 ～ 時 分）</small> 病児保育（1. 有 0. 無） 夜間保育（1. 有 0. 無） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（1. 可 0. 不可）	
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 0. 無） その他の補助（具体的に： ）	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所（1. 有 0. 無） 授乳スペース（1. 有 0. 無）	
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ ）	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ 総務部 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無		
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ 総務部 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無		
38. 研修医手帳（基幹型記入）	1. 有 0. 無		
39. 連携状況（基幹型記入）	* 様式6に記入		

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から27までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から39までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。

12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

(1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

(2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。

(3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

(4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

(5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)}}{\text{<。>}} + \frac{\text{外来患者数 (精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)} + \text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

(6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない。)

15 「救急医療の提供の実績」欄について

(1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。

(2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。

(3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。

(4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうち来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

(5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

(6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。

(7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について

(1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

- こと。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1) 「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (2) 「保育補助」欄は、ベビーシッターや一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (4) 「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(10)～(12)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5) 「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (6) 「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

- (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

32 「研修医の処遇」欄について

- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）： 医療法人医仁会武田総合病院（京都府）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
京都府	京都・乙訓	医療法人医仁会 武田総合病院 (病院施設番号：030473)		京都府	山城北		宇治武田病院 (病院施設番号：086224)		京都府	丹後		医療法人財団宮津康生会 宮津武田病院 (病院施設番号：056921)		医療法人医仁会武田総合病院 初期臨床研修プログラム	5
				京都府	京都・乙訓		医療法人財団桜花会 醍醐病院 (病院施設番号：030492)		京都府	京都・乙訓		医療法人やまうちクリニック (病院施設番号：178454)			
							(病院施設番号：)		京都府	京都・乙訓		医療法人社団不文会泉川医院 (病院施設番号：056012)			
							(病院施設番号：)		京都府	京都・乙訓		井上医院 (病院施設番号：056015)			
							(病院施設番号：)		京都府	京都・乙訓		医療法人緑萌会社医院 (病院施設番号：056019)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

宇治武田病院とは、緊密な病連携のもと医師の往来がある。外科系分野での診療を得意としており、研修医として学ぶべき症例がある。また隣接の医療圏である。
宮津武田病院は同じ武田病院グループであり、へき地及び地域医療研修を実施することが可能なため。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6.研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数3回）

病院施設番号 030473 臨床研修病院の名称：医療法人医仁会武田総合病院

氏名	所属	役職	備考
三森 経世	医療法人医仁会武田総合病院	院長	研修管理委員長 研修実施責任者
的場 祥人	医療法人財団桜花会醍醐病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員・指導医
井上 雅文	井上医院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
山内 宏哲	やまうちクリニック	院長	研修実施責任者 研修管理委員
泉川 文彦	医療法人社団不文会 泉川医院	理事長	研修実施責任者 研修管理委員
辻 康平	医療法人緑萌会 辻医院	理事長	研修実施責任者 研修管理委員
曾根 敦史	宮津武田病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
金 郁喆	宇治武田病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
川西 昌浩	医療法人医仁会武田総合病院	副院長	研修管理委員 指導医
財間 正純	医療法人医仁会武田総合病院	副院長	研修管理委員 指導医
土井 哲也	医療法人医仁会武田総合病院	副院長	研修管理委員 指導医
難波江 正浩	医療法人医仁会武田総合病院	副院長	研修管理委員
中前 恵一郎	医療法人医仁会武田総合病院	部長	研修管理委員・プログラム責任者 指導医
中谷 壽男	医療法人医仁会武田総合病院	センター長	研修管理委員・救急指導者 指導医
川上 光一	医療法人医仁会武田総合病院	主任部長・医局長	研修管理委員 指導医
松井 美萌	医療法人医仁会武田総合病院	部長・副医局長	研修管理委員 指導医
中坊 幸晴	医療法人医仁会武田総合病院	センター長	研修管理委員・プログラム責任者 指導医
宝輪 克博	医療法人医仁会武田総合病院	事務長	研修管理委員 事務部門の責任者
山本 美紀	医療法人医仁会武田総合病院	看護部長	研修管理委員
馬瀬 久宜	医療法人医仁会武田総合病院	薬局長	研修管理委員
川野 彰	医療法人医仁会武田総合病院	放射線科 科長	研修管理委員
大町 千恵美	医療法人医仁会武田総合病院	臨床検査科 科長	研修管理委員
平住 仰山		明暗寺 住職	外部委員

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。

「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。

欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

12.診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分)

		臨床研修病院の名称		医療法人会仁会武田総合病院													
		病院施設番号		030473													
区分	内科	救急部門	外科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精神科	病院で定めた 必修科目の診療科			その他の 研修を行う診療科			合計	
							産科	婦人科					その他				
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	3,003	(7,083)	3,161		354	239 (62)		(62)						594			7,351
年間新外来患者数	8,727		5,190		4,926	441								7,476			26,760
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	335.6 (297)	(0)	225.4 (297)	(0)	30.4 (297)	18.0 (297)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	245.8 (297)	(0)	(0)	
平均在院日数	14.2		16.2		3.0	6.8								7.9			
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	39.0 (15)	4.0 (31)	21.0 (11)	4.0 (1)	2.0 (2)	3.0 (2)	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	24.0 (0)	(0)	(0)	97.0 (65)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 4 年 度 分)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称					医療法人医仁会武田総合病院								
		病 院 施 設 番 号					030473								
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週	
医仁会武田総合病院	内 科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	
滋賀医科大学医学部附属病院	内 科	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
医仁会武田総合病院	救 急 部 門	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	
滋賀医科大学医学部附属病院	救 急 部 門										1				
医仁会武田総合病院	外 科	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	
滋賀医科大学医学部附属病院	外 科								1	1					
医仁会武田総合病院	麻 酔 科						1	1	1	1	1	1			
滋賀医科大学医学部附属病院	麻 酔 科	1					1					1			
医仁会武田総合病院	小 児 科	1	1								1	1	1	1	
康生会武田病院	小 児 科					1	1								
滋賀医科大学医学部附属病院	小 児 科		1										1		
京都大学医学部附属病院	小 児 科								1	1					
医仁会武田総合病院	産 婦 人 科	1	1	1	1	1	1								
康生会武田病院	産 婦 人 科							1	1						
滋賀医科大学医学部附属病院	産 婦 人 科			1										1	
研修医数 (合計)	内 科	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	2	2	2	
	救 急 部 門	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	
	地 域 医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外 科	1	1	1	1	1	1	1	2	2	0	1	1	1	
	麻 酔 科	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	2	0	0	
	小 児 科	1	2	0	0	1	1	0	1	1	1	1	2	1	
	産 婦 人 科	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	
	精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一 般 外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 5 年 度 分)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称					医療法人医仁会武田総合病院								
		病 院 施 設 番 号					030473								
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週	
医仁会武田総合病院	内 科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	
滋賀医科大学医学部附属病院	内 科	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
医仁会武田総合病院	救 急 部 門	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	
滋賀医科大学医学部附属病院	救 急 部 門										1				
医仁会武田総合病院	外 科	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	
滋賀医科大学医学部附属病院	外 科								1	1					
医仁会武田総合病院	麻 酔 科						1	1	1	1	1	1			
滋賀医科大学医学部附属病院	麻 酔 科	1					1					1			
医仁会武田総合病院	小 児 科	1	1								1	1	1	1	
康生会武田病院	小 児 科					1	1								
滋賀医科大学医学部附属病院	小 児 科		1										1		
京都大学医学部附属病院	小 児 科								1	1					
医仁会武田総合病院	産 婦 人 科	1	1	1	1	1	1								
康生会武田病院	産 婦 人 科							1	1						
滋賀医科大学医学部附属病院	産 婦 人 科			1										1	
研修医数 (合計)	内 科	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	2	2	2	
	救 急 部 門	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	
	地 域 医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外 科	1	1	1	1	1	1	1	2	2	0	1	1	1	
	麻 酔 科	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	2	0	0	
	小 児 科	1	2	0	0	1	1	0	1	1	1	1	2	1	
	産 婦 人 科	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	
	精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一 般 外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 6 年 度 分)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称					医療法人医仁会武田総合病院								
		病 院 施 設 番 号					030473								
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週	
医仁会武田総合病院	内 科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	
滋賀医科大学医学部附属病院	内 科	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
医仁会武田総合病院	救 急 部 門	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	
滋賀医科大学医学部附属病院	救 急 部 門										1				
医仁会武田総合病院	外 科	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	
滋賀医科大学医学部附属病院	外 科								1	1					
医仁会武田総合病院	麻 酔 科						1	1	1	1	1	1			
滋賀医科大学医学部附属病院	麻 酔 科	1					1					1			
医仁会武田総合病院	小 児 科	1	1								1	1	1	1	
康生会武田病院	小 児 科					1	1								
滋賀医科大学医学部附属病院	小 児 科		1										1		
京都大学医学部附属病院	小 児 科								1	1					
医仁会武田総合病院	産 婦 人 科	1	1	1	1	1	1								
康生会武田病院	産 婦 人 科							1	1						
滋賀医科大学医学部附属病院	産 婦 人 科			1										1	
研修医数 (合計)	内 科	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	3	3	
	救 急 部 門	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	
	地 域 医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外 科	1	1	1	1	1	1	1	2	2	0	1	1	1	
	麻 酔 科	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	2	0	0	
	小 児 科	1	2	0	0	1	1	0	1	1	1	1	2	1	
	産 婦 人 科	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	
	精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一 般 外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

29.研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030473204

病院施設番号： 030473

臨床研修病院の名称： 医療法人医仁会武田総合病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1.研修プログラム名称	医療法人医仁会武田総合病院初期臨床研修プログラム				
2.研修プログラムの特色	スーパーローテイト方式の臨床研修を基本とし、2年間の初期臨床研修プログラムを基に研修する。本プログラムの特徴は、プライマリ・ケアから専門医、研究医になる素養を身につけると共に、救急医療、地域医療、介護にも接し、専門にとらわれず一般医療を広く扱い、いつ、いかなる状況においても基本的医療行為、医療活動を全人的に行い得る医師としての医学的な基礎をつくることを目標とする。				
3.臨床研修の目標の概要	将来、高度の専門医あるいは、プライマリ・ケアに対応し得る臨床医のいずれを目指すにも、社会的ニーズを認識した医師としての基本的な診療能力、即ち、態度、技能、知識の習得を目標とする。				
4.研修期間	(2)年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 可能				
5.臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設(研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称(病院施設番号)を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。 各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) ××科	1234567	〇〇病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030473	医療法人医仁会武田総合病院	32週	4週
	救急部門	030473	医療法人医仁会武田総合病院	14週	
	地域医療	178454 056012 056015 056019 056921	やまうちクリニック/医療法人社団不文会泉川医院/ 井上医院/医療法人緑萌会辻医院/ 宮津武田病院	5週	一般外来 0.9週 在宅診療 0.1週
	外科	030473 086224	医療法人医仁会武田総合病院 宇治武田病院	4週	週
	小児科	030473	医療法人医仁会武田総合病院	4週	週
	産婦人科	030473	医療法人医仁会武田総合病院	4週	
	精神科	030492	医療法人財団桜花会醍醐病院	4週	
	一般外来 (単独実施のみ)			週	
必修科目 研修院科 目 た で 定	麻酔科	030473	医療法人医仁会武田総合病院	4週	週
選択科目	備考参照	030473 086224 030492 056921	医療法人医仁会武田総合病院 宇治武田病院 医療法人財団桜花会醍醐病院 宮津武田病院	33週	週
備考: 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低62週 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大12週 内科研修では、総合診療科16週間、循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・脳神経内科各4週間を研修する。外科研修では、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科(医仁会武田総合病院または宇治武田病院)、泌尿器科から選択する。ただし、少なくとも外科・心臓血管外科、呼吸器外科より合計2週間を研修する。地域医療は、宮津武田病院研修4週間および開業医研修1週間とする。選択科目は、将来専門とする診療科を中心に、次の診療科から選択する。(内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、不整脈科、精神科、小児科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、腎・透析科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、救急、地域医療) 一般外来の研修は並行研修とする。週1回半日(通年、ただし基幹病院での研修中の45週間)実施し、研修期間は年間で4週間以上とする。診療科は特定の症状や疾病に偏ることのない内科午後一般外来(時間外外来)にて担当し、原則として初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療を経験する。					

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号：	030473	臨床研修病院の名称：	医療法人医仁会武田総合病院
臨床研修病院群番号：		臨床研修病院群名：	

6.研修スケジュール(一年次) プログラム番号： 030473204

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1 (No.1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1~4週				5~8週				9~12週				13~16週				17~20週				21~24週				25~28週				29~32週				33~36週				37~40週				41~44週				45~48週				49~52週							
凡例 ○○病院 (×××××)	内科	5	5	5	5																																																				
凡例 ▲▲病院 (□□□□□)	外科					3	3	3	3																																																
凡例 ■■病院 (△△△△△)	外科									3	3	3	3																																												
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	内科	5	5	5	5	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	3	3	3	3	2	2	3	3	4	4	4	4
医療法人医仁会武田総合病院 (030473) 宇治武田病院 (086224)	外科						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1																								
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	麻酔科									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																								
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	救急部門													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1												
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	小児科																	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1								
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	産婦人科					1	1	1	1																	1	1	1	1	1	1	1	1													1	1	1	1	1	1	1	1				

*1:臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2:「研修分野」欄には、「5.臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3:選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号：	030473	臨床研修病院の名称：	医療法人医仁会武田総合病院
臨床研修病院群番号：		臨床研修病院群名：	

6.研修スケジュール(二年次) プログラム番号： 030473204

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1 (No.1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1~4週				5~8週				9~12週				13~16週				17~20週				21~24週				25~28週				29~32週				33~36週				37~40週				41~44週				45~48週				49~52週			
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1								
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																								
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	救急部門	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																
医療法人財団桜花会醍醐病院 (030492)	精神科																	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																
宮津武田病院 (056921)	地域医療																																																				
やまうちクリニック (178454)																																																					
泉川医院 (056012)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																								
井上医院 (056015)																																																					
辻医院 (056019)																																																					
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	選択科																																																				
宇治武田病院 (086224)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2												
医療法人財団桜花会醍醐病院 (030492)										3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3												
宮津武田病院 (056921)																																																					

*1:臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2:「研修分野」欄には、「5.臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3:選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

病院施設番号： 030473 臨床研修病院の名称： 医療法人医仁会武田総合病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
1	内科	感染症内科		一山 智	医療法人医仁会武田総合病院	院長	42	常勤	×	日本感染症学会（専門医）、日本臨床検査医学会（専門医）、日本環境感染症学会（ICD）	3
2	内科	救急部門	総合診療科	土井 哲也	医療法人医仁会武田総合病院	副院長 総合診療科主任部長	34	常勤	○	四病協平成17年度第2回臨床研修指導者養成講習会（H17年9月4日） 医療推進財団平成19年度プログラム責任者養成講習会（H19年10月9日）	4
3	内科	救急部門	総合診療科	中前 恵一郎	医療法人医仁会武田総合病院	部長 臨床研修副部長	24	常勤	○	京都府医師会主催平成21年度日本医師会第6回指導医のための教育ワークショップ（平成22年1月11日） 日本医学教育学会平成26年度第41回医学教育のためのワークショップ（H26年12月11日）	1・4
4	内科	救急部門	呼吸器内科	前川 晃一	医療法人医仁会武田総合病院	部長	20	常勤	○	平成28年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
5	内科	救急部門	循環器内科	大屋 秀文	医療法人医仁会武田総合病院	部長	23	常勤	○	平成28年度日本医師会第13回指導医のための教育ワークショップ（H28年10月23日）	4
6	内科	救急部門	循環器内科	佐々木 良雄	医療法人医仁会武田総合病院	部長	21	常勤	○	平成28年度日本医師会第13回指導医のための教育ワークショップ（H28年10月23日）	4
7	内科	救急部門	循環器内科	五十殿 弘二	医療法人医仁会武田総合病院	部長	21	常勤	○	平成22年度京都府立医科大学附属病院指導医講習会（H22年12月24日）	4
8	内科	救急部門	循環器内科	細川 敦	医療法人医仁会武田総合病院		11	常勤	○	平成30年度日本医師会第15回指導医のための教育ワークショップ（H30年11月24日）	4
9	内科	救急部門	脳神経内科	小島 康祐	医療法人医仁会武田総合病院	部長	31	常勤	○	平成20年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H20年11月24日）	4
10	内科	救急部門	脳神経内科	小野 通夫	医療法人医仁会武田総合病院	医長	11	常勤	○	日本医師会第14回指導医のための教育ワークショップ（H29年10月8日）	4
11	内科	救急部門	消化器内科	松山 希一	医療法人医仁会武田総合病院	センター長	33	常勤	○	平成20年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H20年11月24日）	4
12	内科	救急部門	消化器内科	柏 敦文	医療法人医仁会武田総合病院	部長	19	常勤	○	平成28年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
13	内科	救急部門	消化器内科	藤永 陽介	医療法人医仁会武田総合病院	医長	26	常勤	○	平成28年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
14	内科	救急部門	血液内科	中坊 幸晴	医療法人医仁会武田総合病院	センター長	34	常勤	○	京都府医師会主催平成27年度日本医師会第12回指導医のための教育ワークショップ（H27年10月12日）	2・4
15	内科	救急部門	糖尿病内科	髭 秀樹	医療法人医仁会武田総合病院	部長	20	常勤	○	平成28年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4

病院施設番号： 030473

臨床研修病院の名称：

医療法人医仁会武田総合病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
16	内科		不整脈科	池口 滋	医療法人医仁会武田総合病院	センター長	40	常勤	○	第85回臨床研修指導医養成講習会（H22年7月18日）	4
17	救急部門		救急医療センター	中谷 壽男	医療法人医仁会武田総合病院	センター長	47	常勤	○	平成15年度関西医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会（H16年2月15日）、平成19年度プログラム責任者養成講習会（H19年10月11日）	4
18	救急部門		救急医療センター	藤田 益嗣	医療法人医仁会武田総合病院	外科部長	33	常勤	○	平成21年度第1回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会（H21年4月12日）	4
19	救急部門		救急医療センター	杉江 亮	医療法人医仁会武田総合病院	神経救急部長	25	常勤	○	平成25年度大阪市立大学医学部附属病院臨床研修指導医養成のためのワークショップ（H26年1月26日）	4
20	救急部門		救急医療センター	野村 幸哉	医療法人医仁会武田総合病院	心疾患救急部長	26	常勤	○	平成20年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H20年11月24日）	4
21	外科	麻酔科（部門）	外科	加藤 仁司	医療法人医仁会武田総合病院	顧問	47	常勤	○	平成20年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H20年11月24日）	4
22	外科		外科	財間 正純	医療法人医仁会武田総合病院	副院長	41	常勤	○	医療推進財団平成15年度臨床研修指導医養成講習会（H15年9月17日）	4
23	外科	救急部門	外科	水本 雅己	医療法人医仁会武田総合病院	部長	31	常勤	○	平成22年度第1回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会（H22年9月25日）	4
24	外科	救急部門	外科	大塚 一雄	医療法人医仁会武田総合病院	副部長	16	常勤	○	平成28年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
25	外科	救急部門	脳神経外科	川西 昌浩	医療法人医仁会武田総合病院	副院長	32	常勤	○	平成28年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
26	外科	救急部門	脳神経外科	山田 誠	医療法人医仁会武田総合病院	脳血管内治療部部長	22	常勤	○	平成28年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
27	外科	救急部門	脳神経外科	横山 邦生	医療法人医仁会武田総合病院	頭蓋底・脊椎外科部長	20	常勤	○	京都市医師会主催平成22年度日本医師会第7回指導医のための教育ワークショップ（H23年1月10日）	4
28	外科	救急部門	脳神経外科	田中 秀一	医療法人医仁会武田総合病院	低侵襲外科部長	19	常勤	○	平成20年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H20年11月24日）	4
29	外科	救急部門	呼吸器外科	鈴村 雄治	医療法人医仁会武田総合病院	主任部長	31	常勤	○	平成20年度 医仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H20年11月24日）	4
30	外科	救急部門	心臓血管外科	三重野 繁敏	医療法人医仁会武田総合病院	主任部長	26	常勤	○	平成20年度第5回大阪医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会（H21年1月11日）	4

31.臨床研修指導医（指導医）等氏名等名簿

様式10 別紙4

病院施設番号：

030473

臨床研修病院の名称：

医療法人仁会武田総合病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
31	外科	救急部門	心臓血管外科	岸田 賢治	医療法人仁会武田総合病院	部長	21	常勤	○	平成28年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
32	産婦人科	救急部門	産婦人科	伴 千秋	医療法人仁会武田総合病院	主任部長	46	常勤	○	平成25年度第18回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ（H25年9月13日）	4
33	産婦人科	救急部門	産婦人科	鞠 錦	医療法人仁会武田総合病院	部長	15	常勤	○	平成28年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
34	小児科	救急部門	小児科	神谷 一郎	医療法人仁会武田総合病院	部長代理	30	常勤	○	平成20年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H20年11月24日）	4
35	小児科	救急部門	小児科	堤 貴子	医療法人仁会武田総合病院	副部長	15	常勤	○	平成28年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ（H29年1月9日）	4
36	泌尿器科		泌尿器科	東 義人	医療法人仁会武田総合病院	センター長	49	常勤	○	全日本病院協会 平成20年度 臨床研修指導医講習会	4
37	皮膚科		皮膚科	松井 美萌	医療法人仁会武田総合病院	部長	30	常勤	○	日本皮膚科学会専門医 平成20年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
38	病理(CPC)		病理	岡本 英一	医療法人仁会武田総合病院	部長	54	常勤	○	日本病理学会認定病理医 京都府医師会主催平成22年度日本医師会第7回指導医のための教育ワークショップ	4
39	病理(CPC)		病理	齋賀 一步	医療法人仁会武田総合病院	医長	17	常勤	○	京都府医師会主催令和2年度第17回指導医のための教育ワークショップ（R3年1月23日～R3年1月24日）	4
40	放射線科		放射線科	川上 光一	医療法人仁会武田総合病院	部長	37	常勤	○	日本放射線学会専門医・NPO法人マツリ774検査精度管理中央委員会 検査マツリ774読影認定医師 京都府医師会主催平成18年度日本医師会第3	4
41	放射線科		放射線科	横山 堅志	医療法人仁会武田総合病院	部長代理	35	常勤	○	日本医学放射線学会専門医 平成20年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
42	放射線科		放射線科	山本 敦子	医療法人仁会武田総合病院	副部長	22	常勤	○	日本放射線学会専門医・NPO法人マツリ774検査精度管理中央委員会 検査マツリ774読影認定医師 京都府医師会主催平成18年度日本医師会第3	4
43	放射線科		放射線科	森 里美	医療法人仁会武田総合病院	医長	16	常勤	○	平成28年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
44	耳鼻咽喉科		耳鼻咽喉科	馬場 一泰	医療法人仁会武田総合病院	部長	32	常勤	○	令和元年度日本医師会第16回指導医のための教育ワークショップ（R2年12月15日）	4
45	外科		整形外科	清水 長司	宇治武田病院	副院長	35	常勤	○	平成20年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
46	外科		整形外科	斎藤 令馬	宇治武田病院	脊椎センター長	33	常勤	○	平成26年度 日本病院会 臨床研修指導医養成講習会	4

病院施設番号： 030473 臨床研修病院の名称： 医療法人仁会武田総合病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
47	外科	外科		金 修一	宇治武田病院	副院長	27	常勤	○	平成21年度 VHJ機構指導医養成講座	4
48	外科	呼吸器外科		三宅 正幸	宇治武田病院	呼吸器センター長	41	常勤	○	平成20年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
49	外科	形成外科		角谷 聡	宇治武田病院	形成外科医長	13	常勤	○	日本病院会 2022年度第1回臨床研修指導医講習会	4
50	内科	循環器内科		林 秀樹	宇治武田病院	循環器内科部長	34	常勤	○	第11回滋賀医科大学医師臨床研修指導医講習会	4
51	精神科	精神科		的場 祥人	医療法人財団桜花会 醍醐病院	院長	33	常勤	○	平成15年度第1回臨床研修指導医養成研修精神科 (日本精神科病院協会)	3・4
52	精神科	精神科		中谷 真也	医療法人財団桜花会 醍醐病院	副院長	20	常勤	○	臨床研修指導医講習会(平成22年度西日本地区精神科七者懇)	4
53	精神科	精神科		有馬 成紀	医療法人財団桜花会 醍醐病院	名誉院長	46	常勤	○	臨床研修指導医講習会(平成16年度近畿地区精神科七者懇)	4
54	地域医療	泌尿器科		曾根 淳史	宮津武田病院	院長	43	常勤	○	平成22年度日本病院会臨床研修指導医養成講習会	3・4
55	地域医療	消化器内科		山内 宏哲	やまうちクリニック	院長	29	常勤	○	平成20年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	3・4
56	地域医療	耳鼻咽喉科		泉川 文彦	医療法人社団不文会 泉川医院	理事長	56	常勤	○	平成18年度関西医科大学臨床研修指導医養成講習会	3・4
57	地域医療	内科		井上 雅史	井上医院	院長	41	常勤	○	平成7年度厚生省第22回医学教育者のためのワークショップ	3・4
58	地域医療	内科		辻 康平	医療法人緑萌会 辻医院	理事長	39	常勤	○	平成28年度 仁会武田総合病院 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	3・4

※ 「担当分野①」欄には、内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科（産科・婦人科選択可）、精神科、地域医療分野、病理（CPC）及びその他を記入すること。

※ 「担当分野②」には兼任している診療科、病院で定めた必修科目の診療科及びその他研修を行う診療科を記入すること。

※ 「専門分野」には呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、消化器外科等を記入すること。記入した「専門分野」が選択科目の場合「選択科目の有無」に○を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入すること。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

なお、基礎研究医プログラムの指導医には、「基礎研究歴7年以上」もしくは「7年未満」いずれかを「臨床経験年数」欄に明記すること。

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること。

※ 欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。